

活動①『生き物に興味を持つ。特別活動を通して海の生き物や動物を知る。』

活動テーマ

- ・八景島シーパラダイスへ行く準備。
- ・子どもたちがやりたいこと、興味を持ったことを保育の中で実践してみる。
- ・実際に生き物を観に行き、形や大きさを肌で感じてみる。

活動内容

- ・昨年の年長児が招待してくれた『水族館ごっこ』に感銘を受け、進級してからも子どもたちの中で海や川の生き物に興味を持ち始める。
- ・生き物に関する図鑑を用意し、イメージを膨らませる。
- ・ぬり絵や図鑑を観ながら、色や形・生体に興味を持ってみる。
- ・食べ物やエサは何を食べているのかなど情報収集をしてみる。

子どもの姿からの気付き

- ・図鑑やぬり絵あそびを通して日々活動をしていると、子どもたちから「すいぞくかんに いってみたい！」と声上がる。
- ・しおりに色を塗ったり生き物について話をしたりして期待に胸を膨らませている。
- ・折り紙で簡単な生き物を造る姿も見られる。
- ・水族館では様々な魚や生き物がたくさんいて、図鑑にも載っていない生物も観ることができた。
- ・一つひとつのエリアでは、生物の動きに子どもたちも興味津々になっている。また大きさや形にも違いがあることに気づく姿も見られる。
- ・生き物だけでなく、住んでいる場所や一緒に生息している動物などを知る機会にも繋がっている。

振り返り（次回のテーマ、どんな環境設定をするか）

- ・事前に図鑑やインターネットで情報を集めていたが、実際に行ってみるとより多くの生き物や動物・植物を観察することができた。また生き物だけでなく、住んでいる環境や特徴なども知ることができた。
- ・しおりに載せていた生き物を観ることができ、子どもたちもよく確認しながら館内を観て回っていた。
- ・設定していた図鑑各種をより興味深く見るようになった。またぬり絵あそびでも実際の生物の色に近づけようと、より“リアルさ”を求めている。
- ・『シンバイザメ』や『シロイルカ』が子どもたちの中で印象強く残ったようで、後日折り紙でたくさん折って部屋に飾って楽しむ姿が見られた。



活動②『実際に観た生き物のイメージをクラスで共有し、水族館ごっこあそびを楽しむ。』

活動テーマ

- ・八景島シーパラダイスで自分たちが経験し感じたことを共有するために話し合いをする。
- ・話し合いから、子どもたちが「すいぞくかんごっこがしたい！」と声がる。
- ・水族館ごっこへ向けて準備をする。

活動内容

- ・まずはどんな生き物を展示していたかをみんなで話し合ってみる。
- ・自分たちが造ってみたい生き物を出し合って、展示するブースやコーナーを決めていく。
- ・各グループで役割分担を決め、水族館ごっこに向けて準備を進めていく。
- ・『シロイルカ』の実際の長さを調べて長さを測ってみる。測り方は子どもたちが見つけ出した方法で行うことにする。



子どもの姿からの気付き

- ・『シロイルカ』の写真を観ながら、繫げたゴミ袋に新聞紙を丸めて入れている。実際に測った長さで造っているため、かなりの大きさになっていった。
- ・『レッサーパンダ』『ペンギン』『クラゲ』など様々な生き物の展示もしていたこともあり、各グループが友だちとイメージを共有して、生き物のいる環境を段ボールや画用紙で造ったりエサやり体験のコーナーを設定したりしている。『クラゲ』は懐中電灯を使って内側から光らせる工夫をしている。
- ・実際にゆり組だけで行い、感想を言い合ったりショーの見せ方や招待する友だちに伝わるような説明を子どもたちなりに思考したり話し合ったりしている。
- ・各グループで再考を重ねて、全クラスを招待しての「水族館ごっこ」を開催する。

振り返り（次回のテーマ、どんな環境設定をするか）

- ・全クラスを招待してみて、まずはみんなでやりきった達成感を感じていた。また自分たち自ら考え造り上げた生き物や動物をたくさんの友だちに観てもらうことができ、喜びを感じている姿が見られた。
- ・自分たちの経験や体験をイメージして、実際に表現することができた。子どもたちの自信にも繋がっていた。
- ・生き物以外にも住んでいる環境や他の動物などに興味を持ち、深めていけるように動物図鑑を用意した。

活動③④『海や川の生き物以外にも興味を持つ。』

活動テーマ

- ・『水族館ごっこ』を通して、様々な生き物に興味を持った子どもたち。海や川の生き物だけでなく動物にも興味を持ち始める。
- ・八景島シーパラダイスにはいない生き物や動物は、どんなものがあるのか。

活動内容

- 11月：図鑑やぬり絵で陸の動物や生き物にも興味を持つ。
- 12月：動物や恐竜の折り紙本を用意する。



子どもの姿からの気付き

- ・1回目で設定した『動物最強王図鑑』を友だちとよく見ている姿がある。
- ・図鑑の中の気に入った動物の絵を、コピーしてぬり絵あそびを楽しむ姿が見られる。
- ・動物や恐竜の折り紙本を用意すると、夢中になって毎日折る様子がある。



振り返り（次回のテーマ、どんな環境設定をするか）

- ・近隣の動物公園に行ったこともある子どもや水族館へ行った経験もあり、知っている動物や生き物の知識も増えている。
- ・知っているからこそ、実際に折ったり塗ったりしてあそびの中でイメージを広げようとしている。
- ・子どもたちから「どうぶつえんに みんなでいきたい！」と声も上がる。
- ・保育者と一緒にPCを使って、好きな動物の大きさや特徴を興味・関心を持って調べる様子が見られる。

活動⑤『特別活動を通して、様々な動物や生き物の種類や特徴を知る。』

**活動テーマ**

- ・東武動物公園へ行く準備。
- ・しおりの準備。
- ・園内マップを見ながら、どんな動物がいるかを調べる。
- ・写真ファイルの作成。
- ・実際に動物園へ行き、大きさや生態を知る。またエサやり体験などを通して動物と触れ合う。

**活動内容**

- ・「水族館ごっこ」の経験から、動物への興味も出てきて、子どもたちからも「どうぶつえんへみんなで行きたい！」と声上がる。
- ・好きな動物を折り紙で造ってあそぶ様子が増えている。
- ・『動物最強王図鑑』をよく観ていたり動物の人形の玩具であそんだりする姿がよく見られる。
- ・写真ファイルを作成すると、子どもたちもよく観て興味を持つようになる。

**子どもの姿からの気づき**

- ・東武動物公園に行くので、しおりの作成をしている。しおりには、自分で観たい動物の絵を描いたり色を塗ったりして楽しんでいる。
- ・実際にいる動物が何かを、写真ファイルを見ながらイメージを膨らませている。
- ・動物園では、どんな動物がいるのか期待に胸を膨らませている。歩きながら様々な動物を目の前で観ることで、臨場感に圧倒する様子がある。
- ・しおりを見ながら、動物の種類を確認する。
- ・自分たちで調べた情報以上の動物を観ることができた喜びを感じている。
- ・『シカ』のエサやり体験で、実際に触れてみての感触や様子を伝えている。

**振り返り（次回のテーマ、どんな環境設定をするか）**

- ・実物大の動物を観ることができて、子どもたちにとってとても良い経験となった。またシカのエサやり体験を通して動物の特徴や食べ物などにも興味・関心を深く持つようになった。
- ・自分の目で観て触れて感じてきたことで、子どもたちの中でも良い思い出となっていた。

